

湖南省防災士連絡会

スキルアップ委員会

令和5年度活動報告

1. 先進地視察研修

人と防災未来センター及び、
神戸市危機管理センター防災展示室への視察研修

実施日 令和5年9月17日（日）
午前8時出発 午後4時半帰着

参加者数 19名

往復のバス車内にて防災クイズ・防災DVD
視聴



阪神・淡路大震災で被災された語り部の方による講話

- ・ 息子さんの住むアパートが崩れ生き埋めになっていたが、通りがかった人たちと力を合わせ運よく救出することが出来た。
- ・ 全身埃まみれになっていた息子さんに運よく水を与えることが出来て良かった。災害時はとにかく水がほしい！備蓄しておいてほしい！私たちに力を込めて仰って下さった。
- ・ レンジで簡単に食べられるお米がありがたかった。
- ・ 避難所（学校）で初めに皆で行った作業はトイレ問題。排泄物を埋めるためグラウンドに穴を掘った。
- ・ 避難所では時間が経つにつれ、人の心に妬みやずるさが出てきていた。
- ・ 避難場所を家族で決めておく。又そのルート of 安全面も確認しておいて欲しい。



人と防災未来センターを研修して

【震災追体験フロア】

地震のすさまじさを体感する。まちが容赦なく破壊され、本当に恐ろしい。

【大震災ホール】

若い女性が倒壊家屋の下敷きになり火も迫り、先に抜けだせた妹に「あんたは早く逃げろ」と言うシーンなど、大変心を揺さぶられる

【震災の記憶フロア】

他では見る事が出来ない貴重な資料など多数展示されている。

尊い命の大切さと、防災・減災の大事さを学びました



人と防災未来センターとは・・・
阪神・淡路大震災を大型のシアターによる迫力ある映像や音響で追体験し、発災直後から復興までの道のりと、これからの備えを学ぶ防災学習施設

2. スキルアップ研修

地震災害講座

—防災士に求められる活動や避難所における諸問題への対応—

実施日 令和5年11月19日（日）

午前10時～約2時間

場所 菩提寺まちづくりセンター

講師 滋賀県地域防災アドバイザー

防災士 笠原恒夫氏

参加者数 37名（内非会員8名）



【滋賀県域の5つの活断層】

どれも長く動いておらず危険な状態。そのほとんどの断層による地震で湖南市に震度6弱以上が想定されている

【南海トラフ巨大地震】

今後30年以内の発生確率=70~80% 市内想定最大震度6強



- ①琵琶湖西岸断層帯
- ②花折断層帯
- ③木津川断層帯
- ④鈴鹿西縁断層帯
- ⑤柳ヶ瀬／関ヶ原断層帯

自主防災組織に期待される活動・役割として学んだこと

発生前	防災計画の策定 知識の普及 訓練の実施 資機材の整備 避難行動要支援者の把握
発生直後	自身・家族の安全確保 近隣での助けあい
数時間後	安否や被害の情報収集 初期消火活動 救出活動 負傷者の手当・搬送 避難誘導 避難行動要支援者の避難支援
数日後	避難所運営 情報伝達 物資配分・物資需 要の把握 防疫対策 し尿処理 防犯活動

避難所運営委員会とは・・・

避難者が主体的に協議・決定するための運営機関。防災士として運営委員会に参画し、避難所のコーディネーターとして活動する。運営委員会は会長以下、総務班・名簿班・連絡広報班・施設管理班・食料物資班・救護班・環境衛生班等で構成する

地震災害はいつ起こるかわからないため、防災をやり続けることが大事で止めてはいけない！

災害時のトイレ問題 ～上下水道が止まった場合を想定して～

湖南省危機管理・防災課 米津課長

災害発生後は・・・停電、上下水道の損壊により
水洗トイレは使えなくなる！！



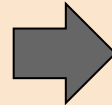
避難所では、

健康被害・・・トイレに行かずに済むよう水分を控える人がでてくる
→脱水症状・エコノミークラス症候群の心配

衛生環境の悪化・流れないトイレではあっという間に便でいっぱいになる
→不衛生となり感染症の発生など、生命に関わる問題となる



仮設トイレはすぐには届かない！
湖南省では応援協定を締結している業者もあるが、広域で災害が起こった場合は手に入れることが難しくなる



自主防災組織として・・・
想定人数×3日～7日分、携帯トイレや簡易トイレ及び凝固剤・トイレットペーパー等備蓄するなど対策を講じておく必要がある
家庭レベルにおいても同じことが言える

3. スキルアップ技能講習

普通救命講習の開催

実施日 第1回 7月30日(日)
第2回 8月16日(日)
第3回 8月20日(日)
第4回 9月10日(日)

場所 石部防災センター他にて

受講者数 会員12名

(その他育成事業卒の受講者他有)

救命技能の習得 (AED及び心臓マッサージ
による心肺蘇生)

※全て事前にWEB講習 (eラーニング) を受講
通常3時間の講習が2時間に短縮される



普通救命講習は、防災士に2～3年に1回程度受講を推奨されています。あなたの大切な人の命を救うため、未受講の方は必ず受講しましょう！！